



平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノダ

コード番号 7879 URL <http://www.noda-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野田 章三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 辻村 力

TEL 03-5687-6222

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	44,379	8.4	1,862	△11.1	1,916	△10.4	991	△32.1
25年11月期第3四半期	40,951	7.1	2,094	24.6	2,138	36.7	1,460	△24.9

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 1,250百万円 (△39.2%) 25年11月期第3四半期 2,055百万円 (△8.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	61.87	—
25年11月期第3四半期	96.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第3四半期	48,449	18,180	34.5	996.39
25年11月期	49,985	16,449	30.4	1,006.86

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 16,735百万円 25年11月期 15,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年11月期	—	6.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,300	0.9	2,330	△20.5	2,400	△20.3	1,320	△35.5	81.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期3Q	17,339,200 株	25年11月期	17,339,200 株
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	543,063 株	25年11月期	2,243,014 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期3Q	16,022,140 株	25年11月期3Q	15,096,225 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。上記の業績予想に関連する事項につきましては、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年12月1日～平成26年8月31日)の国内経済は、円安・株高が継続するなか、輸出型企業を中心に業績の改善や雇用情勢、所得環境の改善が進み、本年4月の消費税率引上げに伴う需要の変動はあったものの、個人消費は全体的に緩やかな回復傾向となりました。

住宅需要につきましては、消費税率引上げ前の駆け込み需要などの要因により、新設住宅着工戸数は春先まで堅調に推移しておりましたが、本年3月以降は駆け込み需要の反動により当グループの事業と関係の深い持家の着工数が前年同期比マイナスに転じるなど、企業間競争が一段と激化する厳しい事業環境となりました。

### ◇当社グループの状況

こうしたなか、当グループは昨年ラインナップしたシート貼りの次世代フローリングなど新製品のほか、安心安全ユニバーサルデザイン(UD)など高齢者対応、子育て支援、環境、リフォーム、住宅の長寿命化、ペット共生等をテーマに引続き床材や建具など主力の建材製品の拡販・シェアの確保に取り組みました。また、合板類の適切な生産、仕入、販売に努め、収益力の向上に努めてまいりました。

この結果、前年同期に比べ建材製品や合板類の販売は増加し、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は44,379百万円(前年同期比8.4%増)となりましたが、円安進行による原材料価格の上昇や、電力料の上昇によるコストアップ、春先以降は駆け込み需要の反動減による一層の競争激化などの要因から、営業利益は1,862百万円(前年同期比11.1%減)、経常利益は1,916百万円(前年同期比10.4%減)にとどまりました。なお、当社の合板工場新設<sup>(注)</sup>に伴う固定資産除却損230百万円の計上などの要因もあり、四半期純利益は991百万円(前年同期比32.1%減)となりました。

### ◇セグメント別の状況

#### [住宅建材事業]

足腰への負担や転倒時の危険を軽減する「衝撃吸収フロア ネクシオ」などUD関連製品による事業展開では、全国各地に展開しているケア連携型バリアフリーのショールームや、木造中規模建築物に対応した金物工法「BIG-MJ SYSTEM」等も活用し、一般住宅のほか、サービス付き高齢者向け住宅、介護施設など非住宅分野への提案営業も推進しシェアの確保、拡販に努めました。また、木目シートで表情豊かなインテリア空間を表現する建具とフローリングのシリーズ「Art Couture(アートクチュール)」などのPR活動も推進いたしました。さらに、地震や台風など災害に強い住宅構造材として、耐震性能や劣化軽減性能に優れた構造用MDFの更なる市場開拓をはかりました。

これら住宅建材の原材料は、CO<sub>2</sub>削減や貴重な森林資源の有効活用をはかる観点からMDF(中質繊維板)や国産針葉樹合板など、地球環境に優しいリサイクル素材や国産材の活用<sup>(注)</sup>に取り組み、環境問題への関心が高い顧客ニーズの掘起こしに努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、持家を中心に春先以降は住宅需要が減少する厳しい事業環境のなか、UD関連製品を含め床材や建具類などの販売を増やし、住宅建材事業の売上高は28,641百万円(前年同期比3.3%増)となりました。一方、円安進行により原材料価格が上昇しコストアップとなるなか、販売競争の激化によりセグメント利益は1,618百万円(前年同期比24.9%減)にとどまりました。

#### [合板事業]

合板事業につきましては、円安が進行するなか輸入南洋材合板の仕入コスト上昇はあったものの、当第3四半期連結累計期間は国内合板相場も概ね堅調に推移し、前年同期に比べ国産針葉樹合板、輸入南洋材合板とも販売が伸長したことから、売上高は15,737百万円(前年同期比19.1%増)、セグメント利益は1,300百万円(前年同期比37.2%増)となりました。

## 〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高(百万円)	前年同期比 (%)	構成比(%)	セグメント利益※ (百万円)	前年同期比 (%)
住宅建材事業	28,641	+3.3	64.5	1,618	△24.9
合板事業	15,737	+19.1	35.5	1,300	+37.2
調整額	—	—	—	△1,055	—
合計	44,379	+8.4	100.0	1,862	△11.1

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(注) 当社は、静岡県が推進する「ふじのくに森林・林業再生プロジェクト」に呼応し、昨年(平成25年)8月には原木の安定取引に関する協定を関係団体と締結するなど、静岡県富士市の当社富士川事業所内において、主にヒノキやスギなど国産材を原材料とした合板を生産する新工場を建設中です。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は48,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,536百万円減少いたしました。その主なものは、現金及び預金の減少2,030百万円、受取手形及び売掛金の減少1,033百万円、繰延税金資産の減少315百万円、製品の増加495百万円、原材料及び貯蔵品の増加495百万円、有形固定資産の増加540百万円などによるものです。

負債は30,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,267百万円減少いたしました。その主なものは、設備関係支払手形の減少1,651百万円、未払法人税等の減少461百万円、短期借入金の減少432百万円、支払手形及び買掛金の減少193百万円、未払金の減少183百万円などによるものです。

純資産は18,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,730百万円増加いたしました。その主なものは、四半期純利益による利益剰余金の増加991百万円及び配当による利益剰余金の減少176百万円並びに自己株式の処分による利益剰余金の減少96百万円、自己株式の処分による増加753百万円、為替換算調整勘定の増加81百万円、少数株主持分の増加195百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期通期連結業績予想は、前回公表(平成26年1月15日公表)した予想数値から変更してありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,813,809	9,783,457
受取手形及び売掛金	9,868,121	8,834,162
製品	5,559,086	6,054,501
仕掛品	1,042,112	1,299,619
原材料及び貯蔵品	1,744,396	2,239,519
繰延税金資産	726,721	435,396
その他	839,206	751,557
貸倒引当金	△15,000	△4,000
流動資産合計	31,578,452	29,394,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,960,158	1,863,038
機械装置及び運搬具(純額)	3,805,621	3,527,328
工具、器具及び備品(純額)	199,621	170,640
土地	4,481,177	4,481,222
リース資産(純額)	102,759	111,469
建設仮勘定	1,316,530	2,253,045
有形固定資産合計	11,865,869	12,406,745
無形固定資産		
リース資産	199,018	173,289
その他	75,123	64,984
無形固定資産合計	274,142	238,273
投資その他の資産		
投資有価証券	4,533,657	4,719,605
長期貸付金	33,022	29,159
繰延税金資産	1,053,445	1,029,727
その他	649,158	633,359
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	6,267,284	6,409,851
固定資産合計	18,407,295	19,054,870
資産合計	49,985,748	48,449,085

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,191,026	9,997,674
短期借入金	7,935,563	7,503,108
リース債務	85,681	86,679
未払金	1,673,642	1,490,145
未払法人税等	645,776	183,968
未払消費税等	33,582	154,664
設備関係支払手形	2,377,793	726,384
圧縮未決算特別勘定	1,400,000	1,400,000
その他	1,152,968	909,359
流動負債合計	25,496,034	22,451,983
固定負債		
社債	130,000	130,000
長期借入金	2,493,731	2,395,271
リース債務	216,909	195,560
繰延税金負債	157,301	157,116
退職給付引当金	4,521,371	4,488,390
役員退職慰労引当金	394,750	358,240
環境対策引当金	115,000	80,930
資産除去債務	10,750	10,750
固定負債合計	8,039,814	7,816,259
負債合計	33,535,848	30,268,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	12,016,309	12,734,554
自己株式	△994,600	△240,816
株主資本合計	14,750,531	16,222,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411,214	392,843
繰延ヘッジ損益	4,883	5,327
為替換算調整勘定	33,050	114,835
その他の包括利益累計額合計	449,149	513,005
少数株主持分	1,250,219	1,445,277
純資産合計	16,449,900	18,180,843
負債純資産合計	49,985,748	48,449,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	40,951,969	44,379,277
売上原価	30,549,198	33,830,563
売上総利益	10,402,771	10,548,713
販売費及び一般管理費	8,307,950	8,686,308
営業利益	2,094,820	1,862,405
営業外収益		
受取利息	11,889	6,091
受取配当金	28,017	32,671
業務受託料	27,044	18,064
経営指導料	29,875	52,915
持分法による投資利益	101,701	96,698
その他	48,511	40,502
営業外収益合計	247,039	246,945
営業外費用		
支払利息	118,819	102,535
売上割引	28,545	24,100
売上債権売却損	45,699	43,133
その他	10,725	23,294
営業外費用合計	203,789	193,064
経常利益	2,138,070	1,916,285
特別利益		
補助金収入	2,692	773,954
特別利益合計	2,692	773,954
特別損失		
固定資産除却損	2,099	230,966
固定資産圧縮損	—	729,133
特別損失合計	2,099	960,099
税金等調整前四半期純利益	2,138,662	1,730,139
法人税、住民税及び事業税	357,967	239,589
法人税等調整額	153,980	324,309
法人税等合計	511,947	563,899
少数株主損益調整前四半期純利益	1,626,715	1,166,240
少数株主利益	165,917	174,906
四半期純利益	1,460,798	991,334



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,626,715	1,166,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221,183	△18,332
繰延ヘッジ損益	6,969	443
持分法適用会社に対する持分相当額	200,298	101,897
その他の包括利益合計	428,451	84,007
四半期包括利益	2,055,166	1,250,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,849,259	1,055,190
少数株主に係る四半期包括利益	205,907	195,057

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月1日を払込期日とする公募による自己株式の処分(一般募集)を行ったことに伴い自己株式処分差損が84,300千円発生したことにより、当第3四半期連結累計期間において同額利益剰余金が減少するとともに、自己株式が656,261千円減少しております。

また、平成26年4月30日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分(オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連する第三者割当)を行ったことに伴い自己株式処分差損が12,531千円発生したことにより、当第3四半期連結累計期間において同額利益剰余金が減少するとともに、自己株式が97,552千円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が12,734,554千円、自己株式が240,816千円となっております。